



火災予防を呼びかけ分列行進する消防団員

無火災・無災害を祈願

町消防出初式を挙げる

町消防出初式は1月6日、町内の諏訪神社で行われ、消防団幹部や関係機関などから約40人が出席しました。式では神事が執り行われ、関係者らが玉串をささげて今年1年の無火災、無災害を祈願しました。前後公町長、五十嵐幸夫町消防団長らがあいさつを述べました。

式に先立ち、消防団員が町内を分列行進し、火災予防を呼びかけました。



開通を祝いテープカットする関係者

都市計画道路一部開通を祝う

猪苗代中央線交通安全祈願祭・開通式

都市計画道路猪苗代中央線の交通安全祈願祭と開通式は1月29日、字芦原地内で行われ、猪苗代中学校から県道猪苗代停車場線までの延長420mの区間が供用開始されました。交通安全祈願祭で神事が執り行われた後、引き続き開かれた開通式では、前後公町長が「猪苗代南部地区計画の目標であるゆとりと潤いのある良好な住環境実現に重要な役割を果たすものと期待します」と式辞を述べ、関係者がテープカットを行い、開通を祝いました。

農山漁村の優良事例に選定

猪苗代稲作部会の取り組み「農山漁村の宝」に選定

東北農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」ビジネス部門に選定されたJA会津よつば猪苗代稲作部会の小林文男部会長らは12月19日、町役場を訪れ、前後公町長に選定を報告しました。小林部会長は「いなわしろ天のつぶのブランド化や海外への輸出、6次化などに町、JA、生産者が三位一体となって取り組んできたことが評価されました。これからも良食味米の生産などに取り組んでいきたい」と報告しました。



前後町長に選定を報告した小林部会長(中央)と齋藤勝則JA会津よつば東部営農経済センター長(右)

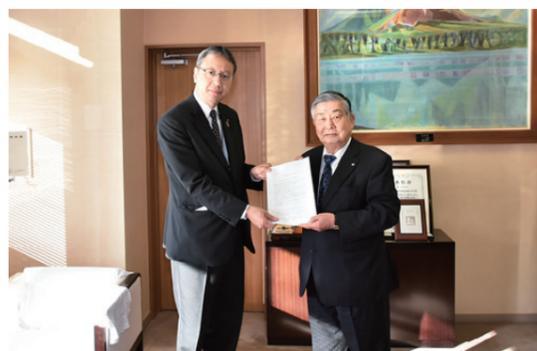
福を願い縁起物求める

新春恒例の十三日市を開催

新春恒例の初市「十三日市」は1月13日、中央通り商店街で開かれました。町商工会などで行う実行委員会が主催しました。オープニングセレモニーでは、新明哲也実行委員長があいさつを述べ、関係者が鏡開きを行ったほか、猪苗代町芸能保存会による太鼓の演奏が披露され、新年を祝いました。会場となった通りには、起き上がり小法師や風車、だるまなどの縁起物や飲食物の露店が並び、福を願って縁起物を求める人たちにぎわいました。



起き上がり小法師などの縁起物を買求める来場者



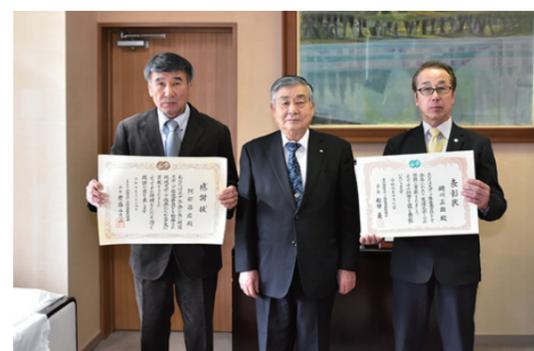
前後町長に審議結果を報告した白瀬副委員長(左)

補助金の執行状況を審議

町補助金適正化委員会審議結果答申

町補助金適正化委員会の白瀬隆夫副委員長は12月24日、前後公町長に委員会の審議結果を答申しました。

審議結果には、補助金等の交付等に関する規則、要綱等を遵守し交付するよう徹底することなどが盛り込まれました。白瀬副委員長は「厳しい財政状況において、町民の皆さんが納付する税金や限られた貴重な財源で賄われているという認識を常に持って、適正な補助金執行に努めてください」と述べました。



受賞の報告に訪れた阿部さん(左)と磯川さん(右)

スポーツ推進への功績をたたえ

スポーツ推進委員勤続表彰

昨年11月に全国スポーツ推進委員30年勤続表彰を受賞した阿部昌広さん(小水沢)は12月24日、町役場を訪れ、前後公町長に受賞を報告しました。この賞は長年にわたり地域スポーツの普及、振興に功績のあった人に贈られるものです。また、同日には東北地区スポーツ推進委員表彰の伝達が行われ、前後町長が受賞した磯川正雄さん(新堀向)に表彰状を手渡しました。前後町長は「今後もスポーツ振興に協力をお願いします」と話しました。

貴重な文化財を守る

文化財防火デー火災防御訓練

町内の貴重な文化財を守るための「第66回文化財防火デー火災防御訓練」は1月19日、蚕養神社で行われ、町消防団や消防署、地区住民ら約130人が参加しました。氏子による文化財の搬出や地区住民らによる初期消火、消防団と消防署による放水訓練などを実施しました。

訓練終了後、前後公町長が「今後とも地域ぐるみの訓練や予防消防の強化に励んでください」と講評を述べました。



放水訓練を行う消防団員ら

新年に町政発展を願う

町シルバー人材センター・門松贈呈式

町シルバー人材センターは12月26日、町に手作りの門松を寄贈しました。町シルバー人材センターでは、町政発展と町民の幸せを願い、毎年寄贈しており、今回で19回目となりました。門松は高さ約60cmで、会員の佐藤正巳さんと小嶋山光男さんが中心となって制作しました。

贈呈式は同日、町役場で行われ、佐藤智昭理事長らが前後公町長に門松を贈りました。



門松を寄贈した佐藤理事長(右から3人目)ら